

学校教育目標 <元気あふれる学校> 夢に向かって笑顔で学び合う子どもの育成

<元気あふれる学校>は、金泉中・金立小・久保泉小統一の「雄飛学園」の目標です!!



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

学校だより 第16号

令和6年 9月27日

文責：校長 中村 佳代

*** いじめ「0」宣言 ～レインボー作戦～ ***

二学期の始業式の日、6年生の子どもたちが、「いじめ『0』の7つの約束」を伝えてくれました。毎学期の初めに、全校の子どもたちで確認していることです。【①友達を大切にし、嫌がることをしません。②いじめを見たら「だめだよ!」と言います。③いじめを見たら、先生や周りの人に知らせます。④困ったときには、すぐに家族や先生に相談します。⑤友達を誘い、一人ぼっちをつくりません。⑥友達を元気にする「ほかほか言葉」を増やします。⑦誰とでも仲良くし、笑顔あふれるクラスにします。】この7つの約束を守り、誰もが安心して楽しく過ごすことができる学校をつくっていくことができる子どもたちであってほしいと思います。「知ってはいる。」「分かってはいる。」けれど、「できているか。」「できるかどうか。」を、日頃から振り返りたいものです。きっと改めて考えることができる時間になったことでしょう。自分の言動を見つめ直し、自分のことも相手のことも大切にできる子どもたちであってほしいものですね。



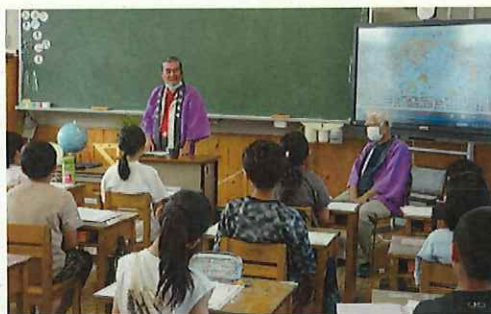
*** 研究授業「話し合い活動」(5年) ***

7月に、6年生と4年生の「研究授業」の取組を紹介しました。今回は、5年生の「研究授業」を紹介します。9月13日(金)に、5年生の学級で「学級活動」の授業が行われました。議題は、「体育大会の5年生のスローガンを決めよう」でした。提案理由は、「(目の前に迫る)体育大会で、サブリーダーとしての役目を、しっかり果たせるようにしたいから。」といった内容でした。タブレットを活用して、それぞれが考えた案を出し合い、「スローガンに入れたい言葉」を選んでいきました。自分の案と友達の案を比べ、6年生のことや下級生のこと考えながら、5年生の自分たちにできることをどんな言葉で表現するか、互いの意見を伝え合うことができていました。自分たちで話し合っ、一つのことを決定し、実践していくことは簡単なことではありませんが、体育大会の練習が始まり、6年生をサポートする5年生の姿が多く見られることだろうと楽しみにしています。



*** えひめあやめ講話（4年） ***

9月10日（火）に、4年生の子どもたちが、「えひめあやめ」について学習しました。「えひめあやめ保存会」の齊藤さんと小林さんにおいでいただき、たくさんのことを教えていただきました。子どもたちは、帯隈山に生息し、久保泉の「たからもの」の一つとして大切に守られてきている「えひめあやめ」のことを、様々な視点から知ることができたようです。聞いたこともある、見たこともある、そんな子どもたちでしょうが、詳しいことを知る機会はなかなかないのかもしれない。とても興味深く学習することができたようでした。学習した後は、小さな苗もいただきました。子どもたちは大喜びです。これからの学習も楽しみにしています。



*** 学校支援活動（教育ボランティア） ***



9月24日（火）～30日（月）の5日間、「学校支援活動」として、大学生が実習に来られています。いずれも佐賀大学の2年生で、八谷千聖さん・六車圭さん・待鳥嵐土さん・大野愛莉さんの4名です。各学年の学級で、教育活動の支援を行います。学習支援や給食・掃除の支援、休み時間の活動等を通し、子どもたちと直接関わることで、教育現場での学びを深めていただけることだろうと思っています。

*** 体育大会「結団式」 ***

体育大会に向けての練習が本格的に始まった9月17日（火）に、各団の結団式が行われました。縦割り班の赤組と白組に分かれ、6年生の団長や副団長をはじめとした応援団を中心に、それぞれの立場で、意気込みが語られていました。練習や準備を積み重ねてきてはいても、全体の前に立つとなると、やはり緊張するものです。そのような中でも、しっかりとみんなを引っ張っていきたい、という気持ちが伝わってくるようでした。6年生や5年生は、リーダー・サブリーダーとして、これからの応援練習や全体練習の中でも、手本となる姿を見せてくれることだろうと期待しています。

